

第1号様式

工事状況チェックシート
(京都市被災者住宅再建等支援金)

この工事状況チェックシートは、京都市被災者住宅再建等支援金の審査時に重要な書類となるため、工事担当者が事実のとおりにお記入ください。記入漏れや不明な点等がある場合は、京都市から担当者に問い合わせることがあります。

また、虚偽の記載を行った場合には、申請者が支援金の交付を受けられなくなったり、既に交付した支援金の全部又は一部について、京都市から返還を求めることがあります。

※ 工事施工業者の方が記入してください。(申請者が記入したチェックシートは無効です。)

工事施工場所 (住所)		京都市 区	
施主名 (申請者名)			
工事実施日		年 月 日 ～ 年 月 日	
工事箇所の状況(工事前)		詳しい状況(必ず記入してください)	
□ 屋根	☐ 居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生していた。(右欄①に記入→)	① 雨漏り等した箇所(どの部屋か分かるように)及び程度 () ② 雨漏り等のおそれが高い箇所(どの部屋か分かるように)、その理由及び応急対応等の実施の有無 ()	
	☐ 工事を実施しなければ <u>居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれが高い状況だった。</u> (右欄②に記入→)		
	☐ 工事を実施しなくても居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれは低い状況だった。		
□ 外壁	☐ 居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生していた。(右欄①に記入→)	① 雨漏り等した箇所(どの部屋か分かるように)及び程度 () ② 雨漏り等のおそれが高い箇所(どの部屋か分かるように)、その理由及び応急対応等の実施の有無 ()	
	☐ 工事を実施しなければ <u>居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれが高い状況だった。</u> (右欄②に記入→)		
	☐ 工事を実施しなくても居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれは低い状況だった。		
□ その他 ()	☐ 居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生していた。(右欄①に記入→)	① 雨漏り等した箇所(どの部屋か分かるように)及び程度 () ② 雨漏り等のおそれが高い箇所(どの部屋か分かるように)、その理由及び応急対応等の実施の有無 ()	
	☐ 工事を実施しなければ <u>居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれが高い状況だった。</u> (右欄②に記入→)		
	☐ 工事を実施しなくても居室内に雨漏り、雨水の侵入が発生するおそれは低い状況だった。		

※該当する箇所にチェックし、必要事項を記入してください。

施工事業者名			
代表者名			
所在地			
担当者名		電話番号	